

## 【基本的な方針】

- ◎使いやすさ、わかりやすさ、親しみやすさ、コスト削減を同時に実施することで利用増を生み出し、市民が快適に便利に利用できる公共交通を目指す
- ◎環境にやさしい「低炭素社会」の構築を交通面から実現する

## 【区域】

彦根市全域

## 【計画期間】

平成21年  
～平成23年

## 【目標】

- 彦根市内で運行する路線バス利用者数を、平成20年度実績71万人から、年間100万人以上への増加
- バス交通を将来に渡って持続可能なものとするため、事業者に対する補助金額を、利用者増と経費削減の両立により、年間6500万円(平成15年実績相当)以下とする。

## 【事業・実施主体】

●バスダイヤ改善  
＜彦根市、近江鉄道(株)、湖国バス、彦根観光バス(株)＞

●バス系統再編  
＜彦根市、近江鉄道(株)、湖国バス(株)、彦根観光バス(株)＞

●バス停改良  
＜彦根市＞

●乗継改善  
＜彦根市、JR、近江鉄道(株)＞

●バス停での情報提供  
＜彦根市、近江鉄道(株)、湖国バス(株)、彦根観光バス(株)＞

●WEB/携帯での情報提供  
＜彦根市＞

●紙媒体での情報提供  
＜彦根市＞

●かしのクルマの使い方考えるプロジェクト  
＜彦根市＞

●商店街との連携  
＜彦根市＞

●著しく乗車密度が低い路線の改善  
＜彦根市＞

●乗合タクシー導入  
＜彦根市＞

●乗合タクシー導入拡大  
＜彦根市＞

## 【その他】

市民、地域関係者、公共交通事業者、行政等の多様な関係者が連携しながらワーキンググループやワークショップを設置して可能な限り市民が主体的に実施する。

## 平成21年度事業計画概要

事業概要	実行主体	評価事項
●路線バス主要路線2路線を併せて昼間30分ヘッドダイヤに改善して実証運行	彦根市、湖国バス(株)	・分かりやすく使いやすいダイヤ設定 ・利用者増加
●予約型乗合タクシー実証運行 公共交通空白地域および路線バス改善による導入地域	彦根市、湖国バス(株)、近江タクシー(株)	・需要に応じた柔軟・効率的な輸送 ・持続的な公共交通運営 ・公共交通利便性の地域間格差の解消 ・利用者増加、コスト削減
●公共交通サービスに関する情報提供(わかりやすい公共交通マップ作成)	彦根市	・公共交通利用層以外への需要喚起 ・利用者増加

## 平成21年度事業実施概要

### 検討の経緯

#### ■21年7月：第1回協議会

- ・平成20年度事業報告について
- ・平成20年度収支決算報告について
- ・平成21年度事業計画案について
- ・平成21年度収支予算案について
- ・事業実施状況の報告

#### ■21年9月：第2回協議会

- ・河瀬南彦根線改善および予約型乗合タクシー実証運行案について
- ・鳥居本地区・稲枝地区予約型乗合タクシー実証運行改善案について
- ・三津屋線ダイヤ改善実証運行案について
- ・公共交通便利マップ作成状況報告

#### ■22年1月：第1回分科会

- ・21年度事業の検証について
- ・自己評価について

#### ■22年1月：第3回協議会(予定)

- ・地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業)に係る事後評価について

### 12月までの事業実施状況

#### 【実施状況・実施主体】

- 主要路線バスダイヤ改善実証運行
- ・11月16日：三津屋線、彦根駅市立病院線改正

<彦根市、湖国バス(株)>

- 予約型乗合タクシー実証運行

#### ■公共交通空白地域(鳥居本・稲枝地区)

- ・4月：実証運行継続
  - ・5月：停留所追加
  - ・8月：利用者数1,000人目達成(H20.10.27～)記念品贈呈
  - ・11月16日：ダイヤ増便・運賃一部改正
- <彦根市、湖国バス(株)、近江タクシー(株)>

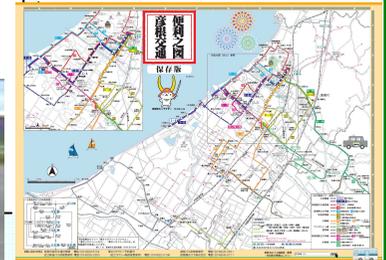
#### ■路線バス改善地域(河瀬駅周辺地区)

- ・6月～9月：地元自治会や老人クラブと検討会
- ・7月：アンケート調査
- ・11月16日：実証運行開始



- 情報提供

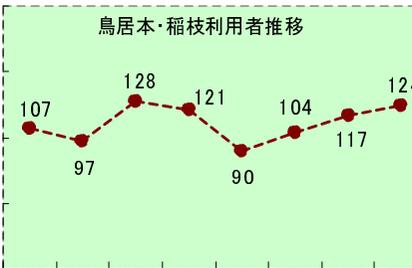
- ・6月～9月：ワークショップ開催、マップ素案作り
- <彦根市>



#### 【実施結果・成果等】

- ・利用者数(2路線計)
- 10月 24,900人
- 11月 21,748人

- ・動態調査比較(1月実施)
- ・アンケート調査による満足度(1月実施)



#### ・路線バス利用者数

- 10月 1,433人
- 11月 1,804人

- ・河瀬駅周辺地区乗合タクシー利用者数
- 11月 38人

#### 【評価・今後の方針等】

- ・アンケート調査等で検証し、収支率向上に向けて、商業施設の多いベルロードや大規模住宅地地域住民の利用を促していく。

- 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月
- ・アンケートによる満足度調査(1月実施)

- ・アンケート調査等により引き続き改善を検討しながら利用促進を図る。
- ・路線バスを休止とした地域や路線バスと重複する地域は利用状況と合わせてよりよい方向性を見出す。

- ・2月に公共施設や転入者等へマップを配付してアンケート調査実施予定
- ・3月完成、市内全戸や事業所等に配付予定

- ・アンケート調査等によりダイヤ改正時に必要な見直しを実施してわかりやすく使いやすいマップにし、またマップの活用方法を検討する。

## 平成20年度二次評価結果に係る事業の概要

### 二次評価指摘事項

#### I 総合評価

#### II 計画事業の実施

#### III 具体的成果

#### IV 自立性・継続性

#### V 住民の参加等による地域関係者の実質的な合意形成

### 二次評価に係る事業実施状況



上記のとおり検討会、ワークショップや法定協議会、分科会を開催しながら、事業を進めた。今後も各事業の問題点の把握や検証を行い、事業の本格実施のための環境整備に向けて検討を行う。市民の公共交通への関心を高めていけるよう、来年度においても、今年度の事業実施の状況や結果を踏まえて改善を図り、二次評価結果に基づいて引き続き事業を実施していく。